

「被害者参加制度」という新しい支援制度ができました

自動車運転過失致死傷などの被害者等は、裁判所の決定により、公判期日に出席し、被告人に対する質問を行なうなど、刑事裁判に直接参加することができます。

1 制度を利用するには

起訴された後、検察官を通じて裁判所に対し刑事裁判への参加を申し出ます。

2 できること

参加を許可された被害者等は、「被害者参加人」となり次のことができるようになります。

- ・ 公判期日に出席すること
- ・ 検察官の権利行使に関し、意見を述べ、説明を受けること
- ・ 証人に尋問をすること
- ・ 被告人に質問すること
- ・ 事実又は法律の適用について意見を陳述すること

※被害者参加人は、上記の行為を弁護士に委託することができます。また、経済的に余裕がない方には、弁護士費用を国が負担する被害者参加人のための国選弁護士制度もあります。

役に立つ情報

○警察庁 <http://www.npa.go.jp/>

○日本司法支援センター 法テラス <http://www.houterasu.or.jp/>

全国には、各地に下記のような特定非営利活動法人全国被害者支援ネットワークに加盟している民間の犯罪の被害者を支援するセンターがあります。お近くのセンターへぜひご相談ください。被害者の相談内容やプライバシーは守られますので、安心して相談できます。

所在地	団体名	相談電話	所在地	団体名	相談電話
北海道	北海道被害者相談室	011-232-8740	三重	公益社団法人みえ犯罪被害者総合支援センター	059-221-7830
青森	社団法人あおもり被害者支援センター	017-721-0783	滋賀	NPO法人おうみ犯罪被害者支援センター	077-525-8103
岩手	社団法人いわて被害者支援センター	019-621-3751	京都	社団法人京都犯罪被害者支援センター	075-451-7830 0120-60-7830 (伊都町会)
宮城	社団法人みやぎ被害者支援センター	022-301-7830	大阪	NPO法人大阪被害者支援アドボカシーセンター	06-6774-6365
秋田	社団法人秋田被害者支援センター	018-832-8010 0120-62-8010	兵庫	NPO法人ひょうご被害者支援センター	078-367-7833
山形	社団法人やまがた被害者支援センター	023-642-7830	奈良	社団法人なら犯罪被害者支援センター	0742-24-0783
福島	社団法人ふくしま被害者支援センター	024-533-9600	和歌山	一般社団法人紀の国被害者支援センター	073-427-1000
茨城	社団法人いばらき被害者支援センター	029-232-2736	鳥取	一般社団法人鳥取被害者サポートセンター	0120-556-491
栃木	社団法人被害者支援センターとちぎ	028-643-3940	岡山	社団法人被害者サポートセンター-おかもと(VSCO)	086-223-5562
群馬	NPO法人被害者支援センターすてっぷぐんま	027-243-9991	広島	社団法人広島被害者支援センター	082-544-1110
千葉	社団法人千葉犯罪被害者支援センター	043-302-5230	山口	NPO法人被害者支援センター-はつらひやまぐち	083-974-5115
東京	社団法人被害者支援都民センター	03-5287-3336	鳥取	社団法人とっとり被害者支援センター	0857-30-0874
埼玉	社団法人埼玉犯罪被害者援助センター	048-834-8080	愛媛	NPO法人被害者こころの支援センターえひめ	089-905-0150
神奈川	NPO法人神奈川被害者支援センター	045-328-3725	高知	NPO法人こうち被害者支援センター	088-854-7867
新潟	公益社団法人にいがた被害者支援センター	025-281-7870	香川	NPO法人被害者支援センターかがわ	087-897-7799
石川	NPO法人石川被害者サポートセンター	076-234-7830	徳島	徳島被害者支援センター	088-678-7830
福井	公益社団法人福井被害者支援センター	0120-783-892 0776-88-0800	福岡	NPO法人福岡犯罪被害者支援センター	092-477-3156
富山	一般社団法人とやま被害者支援センター	076-413-7830	佐賀	NPO法人被害者支援ネットワーク佐賀 VOSS	0952-41-2535
長野	NPO法人長野犯罪被害者支援センター	026-233-7830 長野地区相談室 0263-73-0783 中信地区相談室 0265-53-0783 新田地区相談室	長崎	NPO法人長崎被害者支援センター	095-820-4977
山梨	社団法人被害者支援センターやまなし	055-228-8622	熊本	公益社団法人くまもと被害者支援センター	096-386-1033
岐阜	公益社団法人ぎふ犯罪被害者支援センター	058-268-8700	大分	社団法人大分被害者支援センター	097-532-7711
静岡	NPO法人静岡犯罪被害者支援センター	054-209-5533	宮崎	社団法人宮崎犯罪被害者支援センター	0985-38-7830
愛知	社団法人被害者サポートセンターあいち	052-232-7830	鹿児島	社団法人かごしま犯罪被害者支援センター	099-226-8341
			沖縄	公益社団法人沖縄被害者支援ゆいセンター	098-866-7830

(名称は、平成21年12月現在)

交通事故の被害者と そのご遺族・ご家族の皆さんへ

～こころのケアのために～



このリーフレットは、交通事故後の心のケアについて関心を持っていただき、交通事故による深い悲しみから少しでも回復することができることを願って作成しました。

内閣府政策統括官 (共生社会政策担当)

交通安全対策担当

事故のあと、つらい気持ちや悲しみが残っていませんか？

交通事故はここにも影響を与えます

事故の被害を受けた方やその遺族・家族の方(以下「交通事故の被害者等」といいます。)は、交通事故により、いのち・身体や財産の被害とともに、つらい気持ちや悲しみが続くなどの精神的被害も被っています。被害をこうむった直後から刑事手続や民事手続が進むこととなりますが、これらの手続に追われたり、またこういった手続き自体により精神的な負担を生じたりする場合があります。

しかし、交通事故の被害者等の方々は、こうした精神的な被害や負担には、自分では気付かないことも多く、また、苦しくてもがまんし続けてしまうことがあります。

このような気持ちの多くは正常なこころの反応です

事故のあと、しばらくの間、眠れなかったり、事故のことばかり頭に浮かんで苦しくなったりするなどの心理的な反応がある場合があります。これらの反応の多くは、交通事故という突然の大変な出来事に引き続いて起こってくるこころの「正常な反応」です。これらの反応は時間の経過とともに少しずつ良くなっていくことが多いものですが、一人で抱え込んだり、無理をせず苦しい時には、信頼できる人や専門機関に相談しましょう。

こころの健康のために次のようなことに気をつけましょう

- ・回復には時間がかかることがあります。また、人によっても違います。あせらないようにしましょう
- ・不安になったり眠れなくなったり、どうしてよいか分らないような気持ちになることもあります。大変な出来事のあとでは当然の気持ちであり、自分が弱いわけではないことを理解しましょう
- ・散歩やゆっくりお風呂に入るなど、自分がリラックスできることや楽しめることを大切にしましょう
- ・同じ体験をしていても人によって表現には、違いがあることを理解しましょう
- ・体の調子やつらいときに無理をしないようにしましょう
- ・苦しみをお酒やたばこでまぎらわそうとしないようにしましょう
- ・睡眠や食事など生活のリズムに気をつけましょう
- ・苦しいときは、一人で我慢しないで、周囲の人や次にお示する相談窓口等に相談してみましょう



このような「こころの状態」が数週間続くときはこころの専門機関に相談しましょう

しかし、交通事故の被害者やそのご遺族・ご家族が、PTSD(外傷後ストレス障害)やうつ病などのこころの病気になることもあります。ご遺族では、悲嘆が強く長く続いてしまう場合もあります。次のような状態が見られた場合には、こころの専門機関(精神科・心療内科など)に相談して下さい。もし、専門機関に相談しにくい人は、家族や友人など周囲の人に必ず相談してください。決して一人でがまんしないでください。

- ・事故の記憶がしきりと思い出されてつらい毎日が続いている
- ・毎日ゆううつな気持ちが続いている、何事にも興味や関心が持てない、意欲がなく寝れやすい
- ・罪悪感や強い怒りをコントロールすることができない
- ・苦しい気持ちをお酒やたばこでまぎらわすことが続いている
- ・生きていたくない、死にたい、自分を傷つけたいなどの気持ちがある
- ・気持ちのつらさのために家事や、学校生活、仕事などに支障が生じている など

心の変化は、日常生活や人間関係などに影響を及ぼします

こころの問題で苦しんでいる状態が長く続くことで、日常生活や家族や友人の関心に影響が表れることがあります。特にうつ病やPTSDでは、人と会いたくなくなったり、愛情や幸せなどの気持ちを感じにくいために、大切な人との関係に影響が出てしまうことがあります。

このようなことはあなたが悪いわけではありません。事故の精神的な影響による場合が少なくないのです。その場合には、治療やカウンセリングによって良くなってきます。

このように日常生活や対人関係に影響が出ているような状態があったら、一人で苦しまず、次にお示する相談窓口等の専門家にご相談されることをおすすめします。また、一人では心細いのであれば、家族や友人に問い合わせをしてもらってもよいでしょう。

交通事故に関する主な相談窓口は、次のようなものがあります

現在、交通事故に関してさまざまな相談窓口があります。そのうち主な相談窓口として、都道府県などの単位にもうけられているものとしては、次のようなものがあります。窓口によって相談内容や対応が異なりますのでご紹介します。

関係機関	役割
犯罪の被害者を支援するセンター	<ul style="list-style-type: none"> ●電話相談・面接相談 ●専門家による支援(臨床心理士等によるカウンセリングなど) ●被害者グループへの支援(被害者の方々などの交流の場として、被害者グループの結成を支援するとともに、活動を支援します。) ●直接支援(病院・警察への付き添い、刑事・民事手続きの概要についての説明、警察の事情聴取・検証の付き添い、代理傍聴・葬儀の準備手伝い(遺族の場合))
精神保健福祉センター・保健所	<ul style="list-style-type: none"> ●精神保健福祉相談(こころの健康相談など) 電話相談・面接相談 ●専門職員(精神科医師・保健師・精神保健福祉士・臨床心理士など)による、こころの健康に関する相談
交通事故相談所	<ul style="list-style-type: none"> ●自賠責保険や任意保険の請求手続き ●損害賠償額の請求方法 ●過失割合の決め方 ●示談の進め方 ●治療と労災保険・健康保険・社会保険の関係 等

役に立つ情報

交通事故の被害に遭われた後の心の反応や心の状態などについて、ご関心のある方は、次の関係先のホームページもご覧ください。もう少し詳しいことが分かります。

- ◎ NPO 法人全国被害者支援ネットワーク … <http://www.nnvs.org/>
- ◎ 全国精神保健福祉センター長会 …… <http://www.acplan.jp/mhwc/centerlist.html>
- ◎ 全国保健所長会 …… <http://www.phcd.jp/HClist/HClist-top.html>
- ◎ 国立精神・神経センター「犯罪被害者メンタルヘルス情報ページ」
…………… <http://www.ncnp.go.jp/nimh/seijin/www/index.html>
- ◎ 内閣府 交通安全対策担当 …… <http://www8.cao.go.jp/koutu/sien/index.html>